

平成30年度 全国学力・学習状況調査 結果の概要

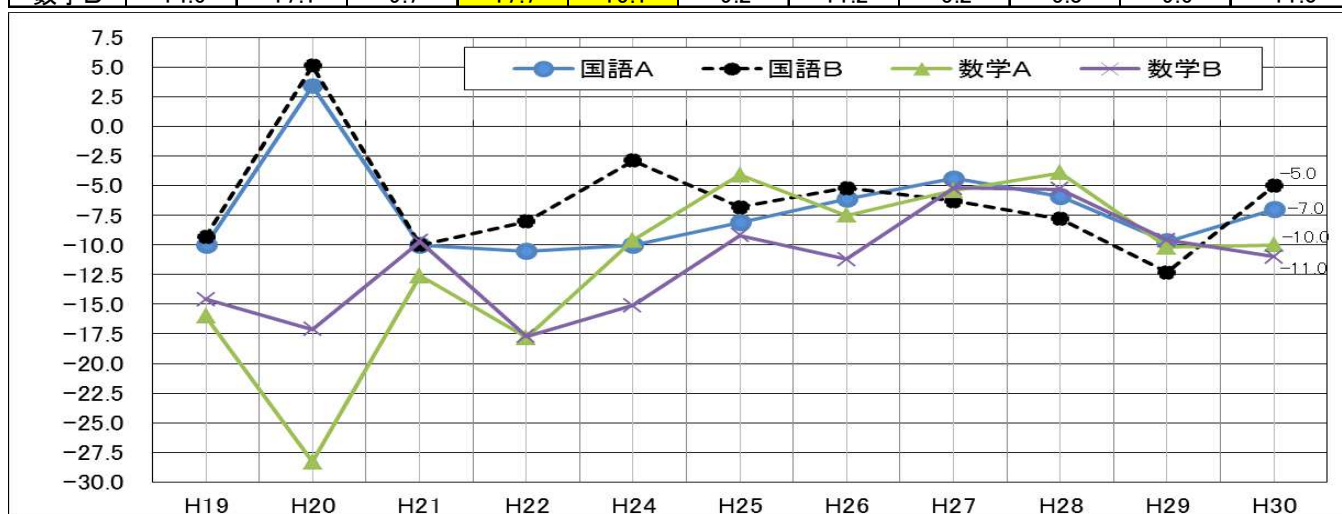
1 平均正答率（単位は％）（今年度の平均正答率は整数値で表しています）

（ ）は昨年度、理科は前回の平成27年度

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
本校	69(67.7)	56(59.9)	56(54.4)	36(38.5)	56(50.0)
沖縄県	72(71.8)	58(66.8)	59(57.6)	40(42.3)	61(45.9)
本校と県との差	-3(-4.1)	-2(-6.9)	-3(-3.2)	-4(-3.8)	-5(+4.1)
全国	76(77.4)	61(72.2)	66(64.6)	47(48.1)	66(53.0)
本校と全国との差	-7(-9.7)	-5(-12.3)	-10(-10.2)	-11(-9.6)	-10(-3.0)

2 全国との差の推移（単位は％）（H22、H24は抽出調査）※国語と数学のみ

年度	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
国語A	-10.0	3.4	-10.0	-10.5	-10.0	-8.1	-6.1	-4.4	-5.9	-9.7	-7.0
国語B	-9.3	5.1	-10.0	-8.0	-2.9	-6.8	-5.2	-6.3	-7.8	-12.3	-5.0
数学A	-16.0	-28.3	-12.6	-17.8	-9.6	-4.1	-7.5	-5.4	-3.9	-10.2	-10.0
数学B	-14.6	-17.1	-9.7	-17.7	-15.1	-9.2	-11.2	-5.2	-5.3	-9.6	-11.0



3 無解答率（単位は％）（ ）は全国との差

H30	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
本校	3.2	3.6	3.3	13.9	4.5
	(+0.1)	(+0.6)	(0)	(+1.3)	(-0.5)
沖縄県	3.8	3.2	4.0	13.1	4.8
全国	3.1	3.0	3.3	12.6	5.0

4 正答率30%未満の生徒の割合（ ）は全国との差

H30	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
本校	2.6	10.5	14.8	53.1	9.8
	(+0.6)	(+1.4)	(+7.1)	(+21.3)	(+4.1)
沖縄県	3.1	11.3	12.6	42.7	8.0
全国	2.0	9.1	7.7	31.8	5.7

5 各教科の授業改善の主なポイント

【国語】主述の整った文が書けるようにするため、短文作成を多く取り入れ、また、単元ごとに「感想まとめ」を200字程度書くことを徹底する。

【数学】教師の教えすぎをなくし、生徒自身が解決方法を導きだし、まとめることができるようにするために、「教え合う」学び合いから「考え合う」学び合いへ改善する。

【理科】観察や実験のレポートを作成させる際は、結果や考察を自分の言葉で記述させる。

【国語】B問題において、全国平均との差が5Pで、全国水準となった。A問題も昨年度より全国との差を2.7P縮め、-7pまで改善した。

【数学】H27~28年度にほぼ全国水準まで達していたが、昨年度から全国との差が大きく広がっている。B問題では30%未満の生徒の割合が半数以上で、また全国との差も21.3Pと高く課題が大きい。

【理科】全国との差が10pで課題が大きい、無解答率は全国・県平均より良く、生徒の意欲の高さがうかがえる。

◆R P D C Aによる授業改善と補習指導の充実が課題。伊波中 Style を意識した授業づくりや授業改善を柱にした教科部会等、徹底する必要がある。

平成30年度全国学力・学習状況調査結果を受けた諸取組の改善

統一したことの質を高め、全員が徹底してやり通す。(伊波中スタイル・Style)

- ①チャイムスタートを意識する。(学習規律)
 - ・チャイムが鳴る前(始業1分前)には、着席して待つ。
 - ・チャイムと共に黙想を始め、鳴り終わると同時に号令をかける。
 - ・休み時間にノートや教科書など必要な物を開き、ノートには月日や線、めあて等項目を書いておく。(小学校の取り組みをつなぐ)

- ②めあて、まとめ・振り返りの確実な実施(教材研究の充実)
 - ・めあてを子どもにつかませるための導入を工夫
 - ・まとめを子どもから引き出すための発問や板書の工夫
 - ・子ども一人一人に学びを自覚させるため、振り返りの視点を工夫し、共有する。

- ③「教え合う」学び合いから「考え合う」学び合いへの移行
 - ・教え合う場面はあっても良いが、教え合うだけの学び合いからの改善を図る。
 - ・発表し合うだけで新たな発見がない学びにならないよう、より良い考えを生み出し、考え合うための対話スキルを身につけさせる。(生徒用下敷きの活用)

例)発表の仕方：○○さんの考えと同じです。説明を付け加えると、…
○○さんの考えとは違って、…
※発表するときは、前の発表者の内容をつないで発表させる。

- ④補習指導の実施
 - ・毎週金曜日の補習指導・Webテストを全職員で協力して行う。
 - ・計画的な形成的評価を実施し、各教科の補習指導を充実させる。

- ⑤授業改善を柱とした教科部会の実施
 - ・授業改善に関わる記録を確実に残し、全職員で共有する。
 - ・板書写真を基にした授業リフレクションを行う。(輪番制)
 - ・教材研究を協働で行う。(めあてとまとめ、発問、板書計画、教具の作成等)

職員一人一人が授業改善を基盤とした教育実践を！